

## 丹波市市民憲章(案)に関するパブリックコメントの結果について

### パブリックコメントの実施状況

(1)意見の募集期間

令和元年6月20日(木)～令和元年7月22日(月)

(2)意見の応募者数及び件数

応募者数 3名 件数 3件 (うち、1名公表なし。)

No.	該当箇所	意見・提案の内容	市の考え方
1	その他	<p>市民の意見を述べます。</p> <p>丹波篠山市に比べて丹波市はあらゆる税金が高くて、老いた人、病人や貧乏暮らしの人々はお金が払えず、家を追い出される人もいます。生活の底辺に住む人々に深い愛情がそそがれているように思われません。丹波市の山野草や景色の四季折々の美しさはたとえようありません。そのようなことはどなたもご存知です。</p> <p>文章の中に福祉に関する1行も述べられておらず残念です。人間は愛によって生かされています。それは試練に対する愛、動物への愛、見返りを求めない愛です。</p> <p>今回の文章は上っ面だけを言葉にしているように思います。</p> <p>以上意見を述べさせていただきます。</p>	<p>直接的に福祉という言葉はありませんが、『「おかえり」を合言葉に みんなが家族のように暮らします』、『私たち市民は、一人ひとりを互いに大切にしたい』という文章に、人と人とのつながり、優しさ、温もりなど、いわゆる愛や福祉の心が大切であること、また丹波市民それぞれがそのような気持ちに共感していることを表現しています。</p>
2	全般	<p>丹波市の原点は水分れ(氷上回廊)であると感じている。市民がその誇りを持っているかどうかといえば大多数がその価値すら知らないはず…。この市民憲章が水分れの価値を知らしめるものになればと思う。</p> <p>丹波市は農産物である。そのあたりを加えても良いのではないかな。</p>	<p>丹波市の代表的な自然・地勢の観点から、市の風土が持つ寛容性の原点として、古くから生物多様性や人の行き交いをもたらした水分れを盛り込みました。ご意見をいただきましたように水分れに多くの人が関心を持ってもらえればと考えます。</p> <p>また、「霧 湧き上がる大地の恵みを享けながら」という文章に、大地の恵みを享けた滋味豊かな農産物を表現しています。</p>